

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	加柴 久美子	学校名	北九州市立高須小学校
実施学年	1年	教科	算数
単元名	なんばんめ		

《学びを深めたいポイント》

学習の目的

本単元では、学習指導要領第1学年の内容A「数と計算」(1)及びB「図形」(1)に示された指導事項のうち、順序数の理解と方向や位置を示す表現の指導のために設定されたものである。数は、対象と数詞を順番に1対1に対応させて、その最後の数によって物の個数を表すことができる。同時に、ものの個数を数えるためだけでなく、ものの順序を言い表す場合にも使われる。何番目という表現がそれにあたる。順序を調べる対象に順に数詞を対応させていき、その数詞によって順番を知ることができる。このように本単元は、順番を表す数についての理解をはかることを目的としている。また、児童が具体物を操作して、「前から何番目」(順序数)をみつけたすことをねらいとしている。

《SKYMENU 活用のポイント》

本単元では、下記のような計画でスカイメニューを活用しました。

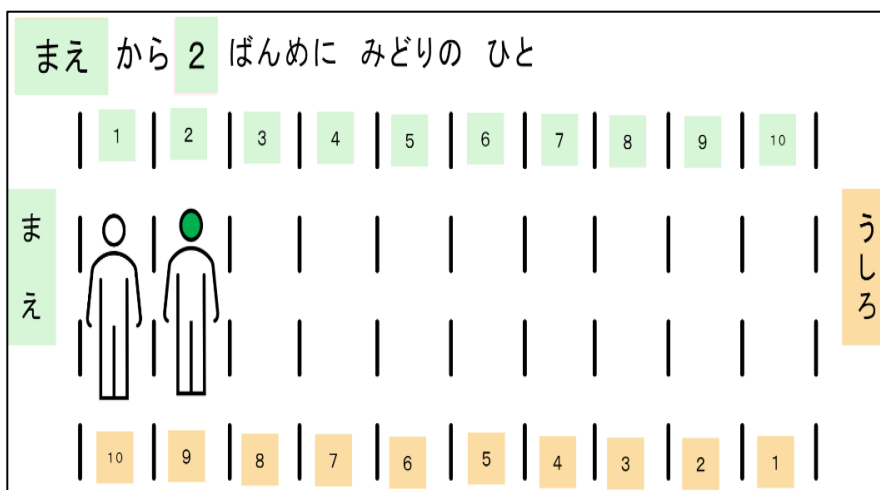
- 1 時目→教科書・補助教材を用いた学習(上下左右)
- 2 時目→「前から何番目」(順序数)の理解(スカイメニューの活用)
- 3 時目→「前から何人」(集合数)の理解

～2 時目における SKY MENU の活用について～

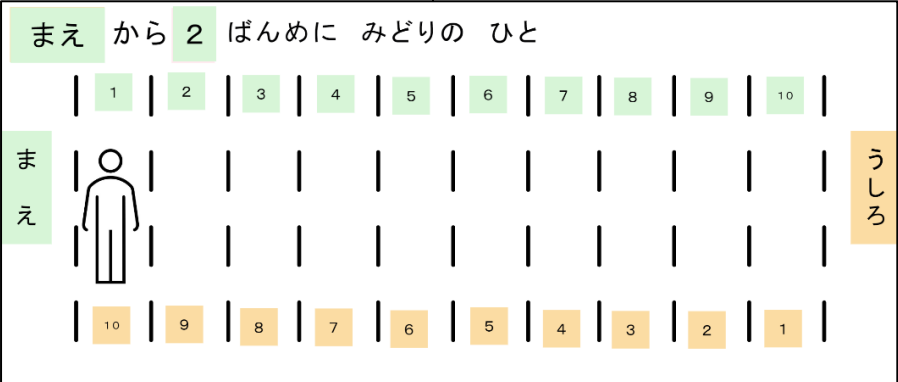

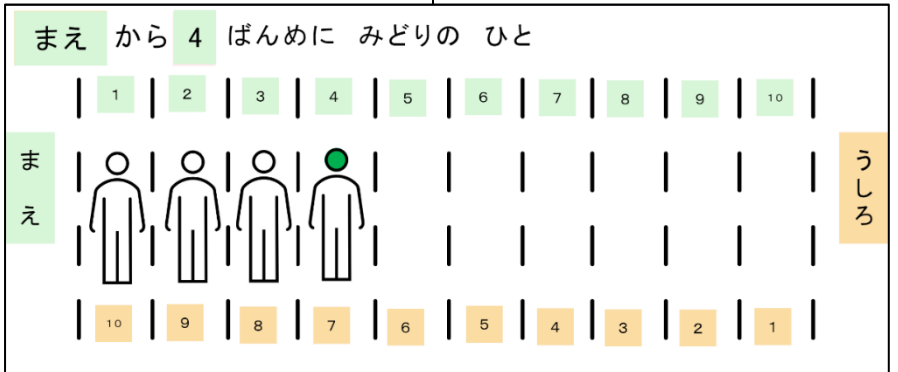
- ① 「前から何番目にみどりのひと」という短い言葉の指示に従って、資材置き場から白い人を動かし、指示された場所に緑の人を動かす。
- ② 最後に教師と確認して前から1、2、3と言いながら正解を確認する。

教科書やドリルの問題では、順序数と集合数の違いを理解する単元構成になっているが、支援学級の児童にはこの二つの違いを一度に理解するのは難しいと判断し、ねらいを順序数の理解にしぼり、学習活動を行った。

1枚のシートに問題が一つなので、学習の仕方が分かると児童自ら次のシートにとりかかる様子が見られ、意欲をもち問題を解く姿が見られた。



《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導入	1 前時学習を振り返る。		
	2 本時学習問題を知り、めあてを立てる。 何番目の学習をしましょう。		
	3 「何番目」の考え方を理解するために、実際に並んで座る。		
展開	4 SKYMENU Cloud を用いて本時学習問題に取り組む。	○ 発表ノートを開き、下の本時学習問題を確認する。	
	<p>まえ から 2 ばんめに みどりの ひと</p> 		
	<p>・ 1 問目は教師と一緒にいき、操作の仕方を確認する。</p>	<p>○ 発表ノートに表示される 2 種類の人間イラストの内、緑の丸で表されている方を、答えとなる位置に移動させるようにする。</p>	<p>○ 児童が操作しやすいように、資料置き場に人間イラストを配置する。</p> 
	<p>まえ から 4 ばんめに みどりの ひと</p> 		
	<p>・ 残りの問題が終わったら、教師と一緒に答えを確認する。</p>	<p>○ 全ての問題が終わったら、教師と一緒に答えを確認し、間違いがあれば訂正する。</p>	<p>○ 左のように、問題場面に合うように資料置き場からイラストを出して並べさせることで、順序数が捉えられるようにする。</p>
	<p>・ 全て正解したら、SKYMENU で提出する。</p>	<p>○ 発表ノートを提出させる。</p>	<p>○ 机間指導や画面一覧機能を通して児童の回答を確認して声掛けをすることで、何度も挑戦させるようにする。</p>

ま と め	5 ふりかえりをする ・学習をふりかえり、感想を発表する。		
-------------	----------------------------------	--	--

《実践を振り返って》

本実践では、まず補助教材を使った学習を行いました。その学習の理解を定着させるために、プリントやドリルなどの教材だけでなく、児童が意欲的に取り組める SKYMENU Cloud を活用して、学習の理解と定着を図りました。

本単元は、通常の学習時間（3時間）では、学習の理解と定着が難しい単元です。また、繰り返し学習が必要な児童に対して、プリント学習だけでなく SKYMENU Cloud を活用して、1ページに1問の設定にしたことで、課題に取り組みやすい様子が見られました。その結果、教師が支援をしなくても自発的に次の問題に取り組む様子が見られました。

このように、プリントやドリル学習だけでなく、SKYMENU Cloud を活用して学習を組み立てることで、児童が学習に意欲をもって取り組むことにつながれると思いました。